

研究発表もうしこみフォーム

氏名：西村 僚之佑

氏名のローマ字表記：NISHIMURA Ryonosuke

所属：大阪大学大学院言語文化研究科言語社会専攻博士後期課程 3 年（中嶋善輝研究室）

専門分野：モンゴル語学・言語学・教育学

発表のタイトル：モンゴル語の親称形に関する考察

発表要旨（600 字～800 字程度）：

モンゴル人が他者に呼びかける際、人を表す語に-aa⁴を接続した形式が用いられることがある。

例) Ариун アリオン ⇨ Ариунаа アリオナー

Дорж ドルジ ⇨ Доржоо ドルジョー

これらの形式は、元来感嘆を表す終助詞が付加したものと見られるが、現代モンゴル語（ハルハ方言）の口語においては、さらに格語尾が接続される現象が見られる：例 Доржоо ドルジョー ⇨ Доржоогийн ドルジョーの（本発表ではこの-aa⁴を接続した形式を「親称形」と呼ぶ）。終助詞は本来、曲用しない不変化する語類（不変化詞）であるため、格語尾の接続はできない。このことから、親称形は名詞として理解されている。つまり、名詞化していると言える：なお、終助詞の名詞化現象に関しては、ちょうど日本語においても類似した例が見られる。呼びかけに用いる「～や」という接尾語である。例えば「坊や」「婆や」は、呼びかけ表現であり、かつ、テニヲハが付加でき、名詞として使うことができる。

モンゴル語においては、親称形以外にも呼びかけ表現として、ニックネームが存在する。ニックネームにはモンゴル語由来の「名前の第一音節+гий」といった形式（例 Багий や Догий）や、ロシア語由来の「名前+-кә⁴」といった形式（例 Ариукә や Доржкө）が挙げられる。また、現時点での調査によると、現在のモンゴル国の大学生、および彼らより若い世代においては、英語の影響を受けたニックネーム（例 Билиг ⇨ Били (Billy), Номин ⇨ Номи）も見られることが判明している。

目下、親称形とニックネームの使い分け上の大きな違いは、初対面の相手に対し言えるかどうかという点にあらう。親称形は初対面でも使えるが、ニックネームは使用できないようである。

本発表では以上の点に関し、インフォーマントに対するアンケート調査に基づき発表する。